

「ファニーたい焼きトム㊦㊦焼きり
ンゴ」

第一幕：

シーン一：開店準備・トムのアイデア

「店内。朝、開店準備をしているトムと魚
住。」

トム：（フライパンを持ちながら）

「おお、これは見てみる！ちよつとした
発明だぜ！『焼きリングたい焼き』だよ！

魚住：（少し心配そうに）

「焼きリング…！？あの、焼きリングっ
て普通はデザートとかに使うものでし
よ？たい焼きの中身にはちよつと珍しく
ないですか…？」

トム：（陽気に）

「だからこそ面白いだろ？ どうせやるならフアニーなたい焼きを！ リンゴの甘みと皮のパリッとした食感が最高だってば！ これは革命だよ、革命！」

魚住：（腕を組んで考え込み）

「でも、なんか：上手くいかなかったらどうしよう：？ お客さんに受け入れてもらえるかな：？」

トム：（ニカッと笑う）

「心配無用だ！ 見てな、魚住！ みんなすぐに虜さ！」

「トムが焼きリングたい焼きのサンプルを作り始める。魚住は少し戸惑いながらも、トムを見守る。」

シーン：初日販売開始・お客の反応

「昼間、店内。最初のお客さんが入店。トムは元気よく案内する。」

トム：

「いらっしやいませ！本日の新作、焼きリンゴたい焼きの登場ですよ！ぜひぜひ、初めての味をお試しあれ！」

お客（女性、中年）：

「え、焼きリンゴ！？たい焼きに…！？それはちょっと珍しいわね。」

魚住：（少し緊張しながら）

「そ、そうなんです！焼きリンゴとたい焼きが組み合わせだった、新しい形なんです…！」

トム：（自信满满）

「これを食べると、今までのたい焼きとは全く違う感覚になるよ！どうぞお試しください！」

「女性客が「焼きリンゴたい焼き」を受け取り、一口食べる。」

お客一：（目を大きく見開く）

「おおおっ：これ、すごい！リンゴがとろけてて、甘さが口いっぱい広がるわ！でも、皮のパリッとした食感がいいアクセントになってる：！」

魚住：（驚いた表情で）

「本当に美味しいんですか：？」

お客一：

「これ、本当に新しいわ！予想外！シナモンがほんのり香って、焼きリンゴの甘さがしっかり感じられて：今までにない味よ！」

トム：（大きさにガッツポーズをしながら）

「ほら、言った通り！『焼きリンゴたい

焼き』、完全にアタリだ！完璧だ、パーフェクト！」

お客：（興奮気味に他のお客に声をかける）

「ねえ、これ食べた？焼きリンゴの甘さと皮のサクサク感が最高よ！ほんと、食べる価値あるわよ！」

シーン③：試食のリアクション（飯テロ描写）

「お客が食べ終わる頃、次のお客が登場。男性客が「焼きリンゴたい焼き」を試食する。」

お客（男性、若干年齢層高め）：

「焼きリンゴ…なんだか想像がつかないけど、試してみるか。」

（彼は一口食べてみる。）

お客さん：（一瞬目を閉じて、まるで味わいを堪能しているかのように）

「うっ…うわ…！なにこれ！ジューシーで甘いリンゴが口の中で広がるけど、皮の香ばしさとサクサク感が絶妙にマッチしてる…！この焼きリンゴ、どうなってるんだ…！まさかこんなに美味しいとは思わなかった！」

トム：（嬉しそうに）

「だろ？だからこそ、これは革命なんだ！焼きリンゴがたい焼きにびったりだってわけ！」

お客さん：

「この食感、完全に病みつきになりそうだ！リンゴの甘さが口の中に広がって、後からシナモンがふわっと香る…こんな味わい、他じゃ絶対に味わえない！いや、すごいな、ほんとに。」

「周囲の他のお客も興味津々で見守り、次々と試食を始める。」

お客 ♪ (女性、若い) ..

「これ、すごくおいしい！皮のパリパリ感が、甘いリングと絶妙に合ってる！シナモンがほんのり効いてて、大人の味だわ！」

(お客たちが「焼きリングたい焼き」を次々と食べる中、魚住が不安げにその様子を見守る。)

魚住： (少し落ち着かない様子で)

「本当に：みんなそんなに気に入ってるんですか：？」

トム： (満面の笑みで)

「うん！大成功だよ！次はリピーターが増えるはずだ！ほら、この勢いだと、今日中に完売しちゃうかもしれないな！」

シーン ♪：お客のリアクション続々

「店内。昼過ぎ、店は次々とお客さんで賑わっている。魚住はトムとともに忙しく接客をしている。」

お客 ▶ (若い男性) :

「これ、どうなってんだ？リンゴの甘さが口に広がると、後からきっちりサクサク感が追いかけてくる！皮がほんのり焦げてるところが、さらにいいアクセントだよ！」

トム : (胸を張って)

「そうそう！焼きリンゴのフルーティーさと皮のパリッと感が絶妙にマッチするんだ！すごいだろ?!」

魚住 : (小声で)

「でも、あれですよね、トムさん。こう：お客さん、みんな『本当に美味しい』って言ってますけど、ちょっと戸惑ってる顔も見かけましたよ：。」

トム：（余裕で）

「大丈夫、大丈夫！最初はみんな、リングが入ってるたい焼きっていうのに驚いてるだけだよ。でも、食べればわかる！絶対に癖になる味だから！」

（嬉しそうにお客に声をかけながら。）

お客さん（高齢男性）：

「焼きリングといえば、デザートだと思ってたけど、こんな風にたい焼きの中に入ってるとは驚きだ！しっとりとしたリングと、サクツとした皮のバランスが最高だなあ……。」

「お客さんが感激しながら食べ続ける。トムと魚住はその様子を嬉しそうに見守る。」

魚住：（目を輝かせて）

「本当に美味しいんですね……。トムさん、やっぱりすごい！」

シーンの：突如、異常なりアクションの客が現れる

「午後になり、突然異常なりアクションをするお客が現れる。女性客が「焼きリンゴたい焼き」を一口食べると、目を大きく見開いて声を上げる。」

お客の（女性、若い）：

「わ、わああああ…！？これ、すごすぎる！！リンゴの甘さが口の中でとろけるだけでなく、後からシナモンの香りがふわっと広がる！皮のパリっとした感じ、最高！」

「女性客が周囲の客に向かって叫び始める。」

お客の（大声で叫ぶ）：

「みんな！これ食べた！？焼きリンゴたい焼き、異次元の美味しさよ！！ほら、早く試してみてください！！」

「お客たちが興味津々で次々に「焼きリンゴたい焼き」を試し始める。周囲の店内が騒然となり、魚住は驚きと焦りの表情でトムに駆け寄る。」

魚住：（焦りながら）

「ト、トムさん！これは…どうしてこんなに盛り上がってるんですか！？なんか、やりすぎ感が…」

トム：（ガッツポーズをしながら満面の笑みで）

「おお、いいぞ！みんな、焼きリンゴたい焼きの革命に気づいたんだよ！この勢いを見ろ、魚住！絶対に成功だ！」

シーンの：店内パニック状態・売り切れ間近

「店内は予想以上に混雑してきて、お客さんがどんどん焼きリンゴたい焼きを注文している。トムと魚住は大忙し。」

魚住：（忙しそうに次々とたい焼きを焼きながら）

「トムさん！あつという間に焼きリンゴたい焼きが売り切れそうですよ…！でも…もう少しで焼きあがりますから、頑張ってください！」

トム：（焼きリンゴたい焼きを焼きながら、笑顔で）

「ああ、売り切れ間近ってわけだね！最高の展開だよ！でも、心配するな、次の焼きリンゴたい焼きを焼いてるからさ、すぐに補充するよ！」

お客（男性、興奮気味に）

「おい、これ、マジでうまいぞ！お前、焼きリンゴたい焼き食べたか？リンゴが

こんな風に、たい焼きの中で踊ってる感じだぞ！」

「他の客も続々とリアクションを見せる。食べるたびに、異なるリアクションをしながら、その感動を大声で周囲に伝える。」

魚住：（驚きながら）

「本当に、こんなに人気が出るなんて…予想以上です！」

トム：（手を振って）

「だろ？言った通り！新しい味には、新しいファンがつくんだよ！さあ、どんどん焼こう！」

シーン：エンディング・完売&大盛況

「夕方、ついに「焼きリンゴたい焼き」は
完売。トムと魚住は店の片付けをしなが
ら、その日の成功を振り返る。」

魚住：（感動的に）

「：信じられません、トムさん。本当に、
焼きリンゴたい焼きがこんなに売れるな
んで：。最初は本当にどうなるかと思
いましたけど、今日は大盛況でしたね。」

トム：（笑顔で）

「うん！最初の不安なんて、どこへ行っ
たって感じだよ！これでまたひとつ、『フ
アニーたい焼き』が成功したって証だ！」

魚住：（笑顔で）

「次は、どんな変わり種のたい焼きを作
るんですか？」

トム：（ウィンクして）

「うーん、次は：『焼きチョコバナナた
い焼き』とかどうだ？いや、まだ考えて

るけど、どんな組み合わせでも、『ファニー』に仕上げるから、心配しないで！」

「店の外から、お客たちの声が聞こえる。」

お客∞（外から）：

「今日の焼きリングोたい焼き、最高だったよ！また食べに来るからねー！」

トム：（店のドアを開けて大声で）

「おー！ありがとう！次回もお楽しみに！」

「トムと魚住が笑い合いながら、店のシャッターを下ろす。夕日が店の前に差し込み、温かい雰囲気包まれる。」

エンド

尺割（目安）

一

オープニング・店内紹介（5分）

2.

1. 店の雰囲気、トムと魚住のキャラクター紹介、焼きリンゴたい焼きの登場シーン。

3.

シーン 1： トムの発案（10分）

4.

1. トムが焼きリンゴたい焼きのアイデアを思いつく過程。魚住とのやり取り、そして新メニューを作る準備。

5.

シーン 2： 焼きリンゴたい焼きの初登場（15分）

6.

1. 焼きリンゴたい焼きの焼き上がり、最初のお客のリアクション。お客の驚きと評価、味や食感のディテール。

7.

シーン3: 店内でのお客のリアクション (15分)

8.

1. 次々とお客が焼きリンゴたい焼きを食べるシーン。お客の感動的でオーバーなリアクションが連続して描かれる。

9.

シーン4: 異常なリアクションの客登場 (10分)

10.

11. 女性客が爆発的なリアクションを見せ、店内が賑わう。魚住の焦りとトムの自信満々な姿。

11.

シーン⑤：店内パニック状態（10分）

12.

1. 注文が殺到し、店内が混乱しつつも、トムと魚住が一丸となって頑張るシーン。緊迫感と笑いの要素が交錯する。

13.

シーン⑥：エンディング・完売&大盛況（10分）

14.

1. 焼きリンゴたい焼きの完売、店内の賑わいがピークを迎える。トムと魚住が成功を振り返り、次のアイデアを考える。

15.

エンドクレジット（2分）

16.

1. 店の外観が映り、エンドクレジットが流れる。お客たちの声が聞こえる中、店を締めるトムと魚住。